

五月十九日（火）一時間目

国語

「漢字の成り立ち」

*スライドを一枚ずつ見ていきましょう。
全部で八枚あります。

*点線の四角でかこってあるところはノートに書くところです。



*このイラストがあるところは、

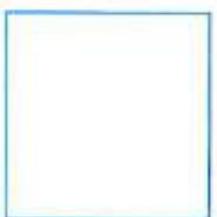
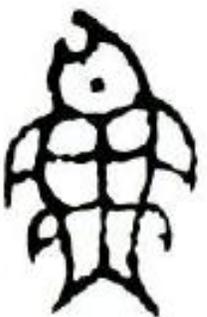
自分の考えをもつところです。



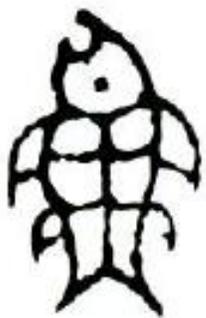


クイズです！

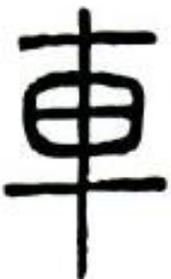
次の文字は、ある漢字の昔の形です。
それぞれの形をもとに、今の漢字に直してみましょう。



正解は、



魚



車

音読をしましょう。

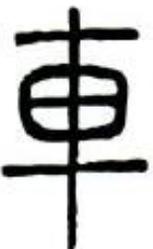
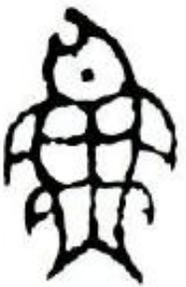
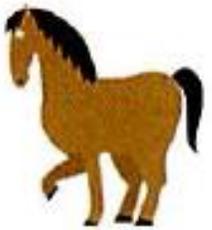
漢字は、今から三千年以上も前に、中国で生まれました。

最初は、物の形や様子などを絵のようにえがいて表していました。それがだんだん変化して、今のような形になりました。また、それらの漢字を組み合わせることで、新しい漢字が次々に作られました。

(教科書36ページ)

漢字の成り立ちには、大きく分けて、四つのものがあります。
順番に見ていきましょう。

①目に見える物の形を、
具体的にえがいたもの。



ノートに次のように書きましょう。

一行目 漢字の成り立ち

二行目 課題 漢字の成り立ちについて知ろう。

三行目から

①目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。

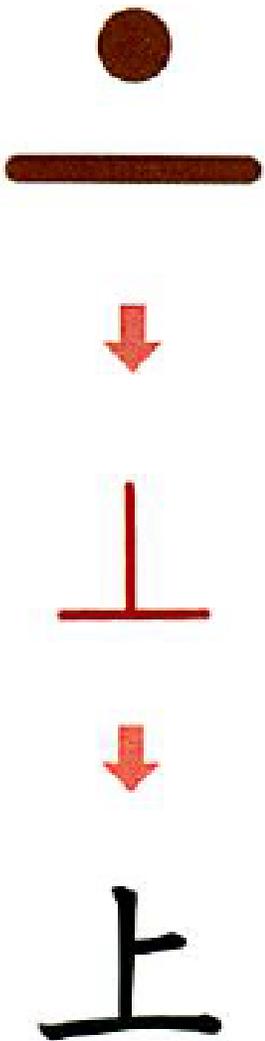
〈例〉馬・山・門・火・手

では、目に見えないものはどうやって表したのでしょうか。

例えばみなさんだったら、「上」ということをどうやって表しますか。



②目に見えない事がらを、
印や記号を使って表した
もの。



ノートの続きに、次のように書きましょう。

②目に見えない事がらを、印や記
号を使って表したもの。

〈例〉上・下・三



では、同じように目に見えないことからで、
「鳴く」ということを、みなさんだったらどのように
表しますか。

昔の人は、「鳴」という漢字をこうやって作ったそうです。

鳥と口 ↓ 鳴



どうして「鳥」と「口」で「鳴」としたのでしょうか。説明してみましよう。

昔の人は、「鳥」と「口」を組み合わせることで、鳥が「鳴く」様子を表したのですね。ということまで三つ目は、

③漢字の意味を組み合わせたもの。
せたもの。

ノートの続きに、次のように書きましよう。

③漢字の意味を組み合わせたもの。
〈例〉鳴・信・林



では、「信」や「林」はどんな意味を組み合わせて生まれた漢字でしょうか。

四つ目の漢字の成り立ちです。

④音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせたもの。

草

↑
音を表す部分

ソウ

↑
意味を表す部分

草が並んで生えている様子

持

↑
音を表す部分

ジ

↑
意味を表す部分

「手」を表した漢字

この組み合わせでできた漢字が、いちばんたくさんあります。

ノートの続きに、次のように書きましょう。

④音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせたもの。

〈例〉草・持

ノートの続きに、次のことを書きましょう。



ふり返り

・初めて知ったこと、もう少し調べてみたいこと、昔の人がどのような漢字を作ったのかを知って感じたことについて自分の考えを書きます。



*ふり返りを書いたら、ワークシートにもどりましょう。練習問題があります。